

## グループルニマーのための教典の詩節

インドの数々の神聖な教典では、何世紀にもわたって、人生の究極の目的は自らの大いなる自己と至高なる自己の融合に対する認識であると教えています。この上ない喜びと慈悲にあふれるこの知識は、自己実現を遂げたグルの恩恵と、グルによって示された道における弟子の献身的な努力によって達成されます。

グルから受け取るものの計り知れない価値を理解して、誠実な弟子はアルパナを培います。サンスクリット語で、アルパナとは純粋な意図を持ってなされたささげものという意味です。このささげものの精神とは、ささげものの背後に無私の愛と明確な一点集中の意図を持って弟子がグルにささげることです。

ここで示されている教典の詩節は、ささげものを行う時の態度と意図を述べ、そして、そのようにささげる行為が、ささげる者をどのように至高なるものとの一体化の領域に導くかを明らかにしています。教典の詩節の教えを学び、朗唱し、そして吸収することは、グルに敬意を表し、また、グルが伝授する貴重な知識をたたえる方法の一つです。

